

会場 広員会

個展三昧 四人の共演

一〇年振りの個展

埼玉西支部 小高峯夫

作品は物置に沢山あるが展示会で売れ残ったものばかり。支部活動で喫茶ルノアールに、毎月展示出来る機会があり少しづつ修正をかけて展示してきた。

そうした物が五〇点ほどになった。最後の個展から一〇年も過ぎていた。何となく億劫だがコロナも幾分静まってきたので実行を決意、三〇点ほど選び新たに五〇号を描き準備を整えた。

販売より自分の記念として多くの人と出会いたいと思いつき期を一〇日間とした。目論見通り多くの友人、絵仲間、地元の先生方、普段あまり会わないいとこ、めいなども会う事ができ充実した個展になった。



準備 OK ギャラリー一月桂樹にて

支部だより

埼玉西支部

彩り展を終えて

支部長 花田 誠八

五月九日から一五日迄開催の彩り展が無事終了。

小作品展を西支部では、例年地元ギャラリーで開催していましたが、コロナ禍の影響で個人ギャラリーが閉鎖になり開催が難しくなりました。

一昨年、地元武州ガス・ビーポケットで(七月三日で閉鎖)抽選



開設間近の会場

による会場の存在を知りチャレンジ、この度開催することが出来ました。

駅前ショッピングモールとしての立地条件から、アンケートでは、会場の雰囲気が大変よく、案内ハガキ・知り合いの方々からの誘いで、川越市民の他に近隣の市町村からの来観者が予想以上に多かった。

ありがとうございます。

東京支部展

開催される

支部員 篠 光定

第四一回展を六月三日(金)〜七日(火)の五日間、恒例の文京シビックセンターで開催しました。

コロナ禍により三年ぶりの開催となりましたが、会員一名、一般二名、作品数三四点の展覧を得ての展覧会でした。

東京支部には、油彩、日本画、工芸等のベテランの方々や独自の世界を追究される方など、多様なメンバーがいらつしやいます。この三年間の空白を埋めるような新たな表現の発信もあり、各々の世界の交流の場にもなりました。



外部審査員 芳賀文治先生の講評

会場は、区役所や、芸術ホール等、多機能の集合施設の中であり、様々な方がそれぞれの興味を持たれて入って来られます。作品と作家の紹介、新日美の紹介や、本展へのご案内についても、熱心に興味を持たれた方も多く感じています。本展とは違った地域社会との繋がりを感ずります。

他支部からの皆様にもご来場いただき、又、選抜小品展においてになった一般のお客様が来場されたりもしました。

皆様には厚く御礼申し上げます。